

学校だより

第50号

# 報徳

R3.12.27

校長 松下 公博

## サンタクロースっているのかな？

### 終業式での話より

今日で二学期が終わります。二学期はどうでしたか。思いだしてみると夏休み明け、三日に一日の分散登校でスタートしました。その後感染が落ち着いて、見学旅行や修学旅行、雨でしたが運動会など皆さんが活躍する場面がたくさんありました。皆さんよく頑張りました。教室を回りながら何人かの人と話をしました。「フェスティ

バルで案内した人からお礼のお手紙をもらいました」と大切そうに見せてくれる人や、「縄跳びがいっぱい跳べるようになりました」と嬉しそうに言ってくれる人がいました。また、今週はお楽しみ会をしているクラスが多かったのですが、みんな楽しく活動している姿を見て、仲良く過ごしたのだなと感じて嬉しかったです。

さて、今日はクリスマスです。クリスマスはなんですか？ クリスマスは、皆さんはサンタクロースはいると思いますか？ 校長先生はサンタクロースみたいな人はいると思っています。サンタクロースって、お利口さんに過ごした子ども達にプレゼントを持って来るんですよ。ということは皆さ

んの様子をどこかでずっと見ていてくれるんですよ。皆さんが頑張ったり、よい行いをしたりした時は「よく頑張ったね、きみはすごい」と褒めてくれて、失敗しちゃったときは「あら、残念だけど次はきつとうまくできるよ。頑張れ。」と励ましてくれているのではないのでしょうか。思いがけない時に素敵なプレゼントを贈ってくれます。こうして、私達を見守っていてくれる人サンタクロースのような人がいると思いませんか。それは空の上からかもしれないし、皆さんの周りの人の体を借りているかもしれない。先生のように60年も生きていけるとそう思えることが時々あるんですよ。

学校だよりを二学期い証拠でしょうか(笑) 中にもう一枚出そうと思っていました。間に合わず、冬休みになってしまいました。子ども達はそれぞれに楽しい冬休みを過ごしていることでしょうか。やがて今年も終わろうとしています。コロナの収束もみなす。いま、オリンピック開催、岸田内閣発足、民間人初の宇宙旅行等様々なことがありました。年を重なるほどに一年が短く感じると言いますが、本当にあつと言う間は年男でした。充実した一年にしようと思いましたが、難しいことも多く、今年も例年通り反省と学びの一年でした。成長の伸びしろがあると、何かを教えていけたらと思います。